

J A M 政策NEWS

2005年8月16日 第2005-75号

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

Tel 03-3451-2586

E-MAIL: syakai@jam-union.or.jp

数多くの重要法案残したまま 第162通常国会閉会

国民生活に大きな影響

第162通常国会は、衆議院解散により会期を5日間残り閉会となりました。

今国会前半の大きな争点だった定率減税は、「税制の抜本改革」には全く手をつけられることなく定率減税の縮小だけが強行されました。後半は、郵政民営化法案の審議を最優先したため他の法案審議に大きな支障をきたしました。さらに衆議院が解散されたことで、審議中の法案は全て廃案になりました。

【成立した主な法案】

- ・介護保険法
- ・障害者雇用促進法

【廃案になった主な法案】

- ・労働安全衛生法改正案
- ・障害者自立支援法案
- ・パートタイム労働法案
- ・政治資金規正法改正案

さらに、今年の秋までに一定の方向性を出すはずだった「年金制度をはじめとする社会保障制度改革に関する両院合同会議」も頓挫し、アスベスト対策の新法制定も大きく遅れることになりました。

組織の総力を挙げて闘いぬく！！

連合・草野事務局長は談話で「今回の解散に至った経緯を容認するものではないが、この選挙は勤労者の声を反映できる政権を樹立する極めて重要な選挙である。この総選挙を政権交代の好機ととらえ、何としても政権交代を実現する。そのために連合は組織の総力を挙げて選挙戦を闘い抜く」と力強く述べました。

小泉首相は郵政民営化を選挙の最大の争点に据えています。しかし私たちが強い関心と期待を持っているのは、「サラリーマン増税阻止」と「年金をはじめとする社会保障制度の抜本改革の実現」です。JAM組合員のみなさんやご家族が丸となって、小泉政権に「NO！」をつきつけましょう。

必ず投票に行きましょう！！

公示日の翌日から9月11日までいつでも投票できます